



算数科授業づくり講座拠点校2年目の中村南小学校では、研究主題「見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業づくり」に向けて、問いを作るための学習過程や指導方法の工夫を重点とした取組を推進しています。

第4学年「四角形の特ちょうを調べよう」 授業者 成田 暉 教諭

教材研究会は中止となったため、校内研修会として実施しました。

能力ベースの単元づくり

本単元終了時に目指す児童の姿から単元を描く

平行な直線の位置関係に着目したり、辺の長さや角の大きさに着目したりすることで、図形の性質を見いだしている。平行な直線の組数、対角線の長さや位置関係に着目し、正方形と長方形を捉え直している。数学的に表現したことを振り返り、結果を多面的に捉えて検討し粘り強く考えている。

中村南小4年生

何ができるようになるか



単元デザイン

第1次	第2次	第3次
直線の交わり方・ならび方 【6時間】	いろいろな四角形と対角線 【6時間】	見いだした四角形の性質 【2時間】
図形の構成要素 二直線の位置関係 垂直・平行の意味や性質の考察	図形の構成要素 図形の性質の考察 平行・垂直・対角線 既習の図形の捉え直し	図形の敷き詰め 敷き詰めることができるよさや美しさへの気づき 図形の性質 身の回りでの活用考察

Point 1 どこに着目して、どのように考えるのかを明らかにすることで、**数学的な見方・考え方の成長**を意識した単元構成を目指す。

Point 2 児童が主体的に問題解決に向かえるような**学習過程(数学的活動)**を意識した単元を描く。

— 単元終了時に目指す児童の姿に向かうために —

論点1

協議の論点

論点2

単元末で目指す児童の姿が実現する単元構想になっているか

児童が主体的に学べるように問いをもたせる授業づくりになっているか

- ・第1次「直線の交わり方・ならび方」の垂直と平行の意味の理解に十分な時間をとって、本時の学習につなげてはどうだろうか。
- ・単元を通して、表を活用して図形を弁別する工夫をしていく方がよい。図形の構成要素に着目して、表にまとめるようにしてはどうだろうか。
- ・表にまとめたことを説明する活動は面白いと思うが、表を使うことで何ができるようになるのかが大切なことである。

- ・本時の入り方で、問いをもつことができるだろうか。児童が解決したいと思えるように、めあてを出すタイミングを工夫する。
- ・児童が自分たちで調べて見つけていけるようにするために、「対角線のメガネ」をかけ、対角線の特徴へどう着目させるのかが大切である。
- ・前時とのつながりが大切で、表にまとめて、表を説明して終わりにならないようにしないといけない。何のために説明するのか、説明したくなるし(発問)が必要だから、クイズ形式にしてみようだろうか。

協議で出た意見

能力ベースの授業づくり

本時終了時に目指す児童の姿から授業を描く

— ゴールに向かう問いの設定 —



授業者 成田 教諭



〈教材研究会(校内研修会)を受けて〉

問いをもたせる授業の工夫

児童が見方・考え方を働かせ、どのように思考・表現し解決していくのかを**方向付ける鍵は、問い!**

Point 1

ゴールと問いがずれないように、**学びのゴールに向かう問いを設定する。**

学習過程(授業の流れ)



Point 2

児童が主体的に問題解決に向かえるように、何について、何を基にして考えることができるのか、**思考を焦点化する問い**を位置付ける。

— 本時終了時に目指す児童の姿に向かうために —

本時の目標

四角形から対角線の特徴を考察し、見いだした性質を説明することができる。
(図形の性質を、クイズを作ることを通して説明できる。)

教材研究会(校内研修会)

授業研究会

参加者の声

- ☆単元末で目指す児童の姿が実現できるように単元構想をしっかりと考え、問いをもてるような導入の仕方が参考になりました。
- ☆単元構成の大切さ、学習指導要領熟読の必要性を痛感しました。
- ☆指導書通りではなく、児童の実態を踏まえたゴールの設定が必要であり、そのゴールに向けた単元づくり、授業の構成、問いが大切だということが分かりました。また、一つの授業だけではなく、先の学年を見据えた計画を考えていくべきだということも学んだので、実践で取り入れたいです。
- ★何のために対角線について調べたのか、調べて終わりではない授業づくりについて、話をしたいと思いました。

授業省察

次へつなげる!!

- ・児童の実態を把握し、児童が活動しやすい単元構成を考えていく。
- ・教師対児童ではなく、児童同士の学びの中からの声を教師が拾っていき、発問の工夫をする。



研究主任 上田 教諭

- ・問いをもってゴールにどのように近づけるのか、展開を決定付けることになる問いの研究を今後も進める。
- ※授業づくり講座に参加していただいた方に、学ぶことがあったと思っていただけるような場となるように、また次回に向けて研究を進めていきたい。

中村南小学校の挑戦は続く!!

第2回教材研究会 令和4年1月21日(金)
授業研究会 令和4年2月8日(火)
— 第5学年「多角形と円をくわしく調べよう」 —